

スタバはどれだけ変わったか？ 「店内は原則リユース」 になるのはいつ？



FoE Japan 瀬口 亮子

国際環境 NGO FoE Japan (フレンズ・オブ・ジ・アース・ジャパン) は、廃棄物発生抑制のポテンシャルの大きい分野であるファストフード、コーヒーショップチェーンの中で、特に影響力の大きいスターバックスコーヒーに対して、店内では紙コップなどの使い捨て容器でなく、マグなどのリユース容器で提供するように、2004年から多くのユーザーとともに働きかけてきました。これまで、さまざまなアクションや同社との話し合いを重ねながら、店舗での変化を見守ってきました。



鴨川を眺めながらマグで抹茶ティラテを
(京都三条大橋店)

「スタバウォッチャー 2009」 全国 164 店舗のスタバでマグ使用状況調査

そのリユース推進の進捗状況を確認するために、2009年10月1日～11月30日、全国の店舗を対象に、店内でのホットドリンク提供におけるマグの使用状況を調査する「スタバウォッチャー 2009」を実施しました。調査員(スタバウォッチャー)は、FoE Japanのサポーターから募集したスタバ利用者35名。各自がスタバ店舗に客として行って、ホットドリンク(本日のコーヒー、紅茶以外)を店内で注文し、提供された容器と対応を報告するシンプルな方法です。<*1 調査項目参照> 多くのデータを収集することで、より正確に実施状況を把握するとともに、現場オペレーションの方法や地域による傾向分析を行いました。

その結果、全店舗の約2割にあたる164店舗のデータを収集することができ、うち42%で、ホットドリンクを原則マグで提供していることがわかりました。まだ紙コップの使用率の方が高いものの、4年前の調査と比べると、さらにマグの利用が進んでいることを確認しました。

紙コップで出す店舗は、店内かどうかは聞かないケースが多く、マグで出そうとしている店舗は、マグでよいかどうかを確認するケース、次いで、マグと紙コップのどちらがよいかを聞くケースが多い、ということがわかります。他のチェーンでは最も一般的な、店内かどうかだけを聞いてマグで提供するケースが、スターバックスコーヒーの場合少ないのは、依然として同社では「原則は使い捨て容器」だからです。

地域による差も大きく、愛知県、静岡県では約8割がマグで提供していた一方、大阪府では皆無でした。都内でも、エリアごとに傾向が分かります。混雑状況と提供容器には、あまり相関関係はありませんでした。すいていても紙コップで出す店舗も多い一方、混雑していてもマグで提供する店舗もありました。<*2 調査結果参照>

全国の店舗に「寒中見舞い」

スタバウォッチャー 2009の調査結果は、本社に提出しましたが、各店舗の店長や店員の皆さんにも確認いただき、さらなるマグ使用を推進していただくために、2010年2月2日、全864店舗に「寒中見舞い」はがき<*3>をお送りしました。調査で訪問した店舗には、その結果に応じて、「よくできました」「もうすこしががんばりましょう」のスタンプも押しました。

すでにマグを使用している店舗には励みに、まだのところには刺激になれば…と願っています。

「店内は原則リユース」になる日まで

FoE Japan は、2002 年から、ファストフード、コーヒーショップの店内でのリユース推進を求める活動を展開し、2004 年からスターバックスコーヒーをターゲットにキャンペーンを継続しています。その間には、店内ではリユースが当たり前の韓国の調査や、米国本社の環境・CSR 部長とのミーティングなども行ってきました。

今回の調査報告は、1 月 5 日に、スターバックスコーヒージャパンの本社に提出し、会合を持ちました。同社広報部によると、2009 年度より、リユースの推進をより強化しているとのこと、その成果が今回の「マグ率」向上にも現れてきたといえるでしょう。しかし、直営なのに各店舗の自主性に委ねるという方針のため、リユースの推進は遅々としています。アイスドリンクは、店内でも 100% プラスチックの使い捨て容器で提供しています。

マイタンブラー制度も注目されていますが、利用者は、通常 1~2%、キャンペーン中は 5% 程度というところだそうで、やはり、店側が、店内で使い捨て容器を使用せずにリユース容器に転換することによる削減ポテンシャルのほうが、圧倒的に多いのです。

FoE Japan は今回の調査結果とともに…

1) 2010 年度以降の「マグ率」の野心的な目標設定 2) アイスドリンク用のリユース対応…を求めるメッセージを同社に届けました。

調査に参加したメンバーからは、「マグで出してくれる店は、コーヒーの入れ方も上手」との感想もありました。「店内ならマグやグラスが当たり前」のスタバになる日まで、キャンペーンは続きます。

※詳細は FoE Japan のホームページをご覧ください。

*1 www.foejapan.org

調査項目

- 1) 調査日、曜日、時間 《例：10 月 10 日土）14 時ごろ》
- 2) 店舗名
- 3) 所在地（都道府県／市町村）
- 4) 混雑状況
 1. すいている（5 割以下）
 2. まあまあ（6~8 割程度）
 3. 混んでいる（9 割以上）
- 5) 注文した飲み物
（本日のコーヒー、紅茶以外の温かい飲み物）
- 6) 提供された容器
 1. マグ
 2. 紙コップ
- 7) 注文の際の店員の声かけ
 1. 何も聞かれなかった
 2. 店内かどうかだけ聞かれた
 3. 店内かどうかと、マグでよいかを、聞かれた
 4. 店内かどうかと、マグか紙のどちらがよいかを聞かれた
 5. その他（具体的に）
- 8) ほかに気づいた点



*3

スターバックスコーヒージャパン

各店 店長・パートナーのみなさま
寒い冬はマグで飲むおいしいコーヒーに
心も体も温まります。
この度スタバ愛用者有志が、全国 164 店舗で
ホットドリンク注文時のマグの使用状況を
調査いたしました。
調査結果は本社に提出し、
以下のウェブサイトでも公開しております。
貴店におかれましてもより一層のマグ利用の
推進を期待しております。

2010 年 1 月 国際環境 NGO FoE Japan

スタバウォッチャー 2009 一同

*2 都道府県別調査店舗数および提供容器

都道府県	マグカップ (店舗数)	紙コップ (店舗数)	総計 (店舗数)	総計 (調査件数)
群馬	3	5	8	8
茨城	2	1	3	3
千葉	1	1	2	2
埼玉	1.5	2.5	4	5
東京	3.1	4.8	7.9	9.5
神奈川	7.5	7.5	15	16
新潟	1	0	1	1
静岡	6	1	7	8
愛知	10	3	13	14
奈良	1	1	2	2
京都	2	0	2	2
大阪	0	16	16	16
兵庫	1	2	3	3
香川	0	4	4	4
愛媛	1	1	2	3
高知	0	1	1	1
熊本	1	1	2	2
総計	69	95	164	185

*2 注文時の質問と提供容器（調査件数）

注文時の質問	マグカップ	紙コップ	総計
何も聞かれなかった	2	65	67
店内かどうかだけ聞かれた	6	39	45
店内かどうかと、 マグでよいかを聞かれた	50	0	50
店内かどうかと、マグか紙の どちらがよいかを聞かれた	21	0	21
その他	1	1	2
総計	80	105	185